

# 図書館だより

2023年度 第4号

月	火	水	木	金
				21 ○
24 ○	25 ○	26 ×	27 ○	28 ○
31 ○				
	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○
7 ×	8 ×	9 ×	10 ×	11 ×
14 ×	15 ×	16 ○	17 ○	18 ○
21 ○	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○
28 ○	29 ○	30 ○	31 ○	

## 夏休みは図書館へ！

清涼な環境で読書・自習。

まもなく梅雨明け、夏も本番を迎えます。この夏休みはどうすごしますか？部活動や勉強、また進路の実現のために多くの時間を費やすことができるまたとない機会です。

冷房の効いた図書館で、読書をしたり、自習をしたりできます。大学入試の小論文や就職面接の本などもあります。本のことはなんでも気軽に司書におたずねください。

1年次生は、読書感想文の課題が出ています。図書館では感想文用の本の展示も行っています。本の選び方など相談にのります。気軽にお声がけください。

開館予定日は、臨時で変更することがあります。あらかじめご了承ください。

# 開館予定

## 雑誌紹介

### スポーツ系

月刊陸上競技、剣道時代、サッカークリニック、ラグビーマガジン

### 文化系・ファッション系

アニメージュ、墨、ダヴィンチ、non-no、Fine boys

### 地元誌

月刊タウン情報トクシマ（タウトク）、あわわ

### みんなのおすすめから

図書館だより第3号でご紹介した「みんなのおすすめボード」から、渦高生のおすすめの本をピックアップして紹介します。

#### 「告白」

湊かなえ

我が子を校内で亡くした中学校の女性教師によるホームルームでの告白から、この物語は始まる。語り手が「級友」「犯人」「犯人の家族」と次々と変わり、次第に事件の全体像が浮き彫りにされていく。衝撃的なラスト。

#### 「ツナグ」

辻村深月

一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれるという「使者」。ツナグの仲介のもと再会した生者と死者。それぞれの想いをかかえた一夜の邂逅は、何をもたらすのだろうか。心の隅々に染み入る感動の連作長編小説。

#### 「宙ごはん」

町田その子

宙には、二人の母がいる。育ててくれている『ママ』と産んでくれた『お母さん』だ。宙は生みの母と暮らし始める。ごはんも作らず子どもの世話もしない、母親との生活を支えたのは商店街のビストロで働く佐伯だった。どこまでも温かく、やさしい希望の物語。

今年は鳴門の花火や阿波踊りも4年ぶりに復活するとか。

当たり前の日常が実は壊れやすく貴重なものだったと知った今、時間を何にどう使うかはますます重要な課題です。

あなたは、この夏どんな本を読むのでしょうか。